

事業の名称：「いるま花田植え」若者世代への継承取り組み

団 体 名	入間コミュニティ協議会	事 業 費	224,125円
代 表 者	会長 松村朝人	補助金交付額	200,000円

現状と課題

花田植えは平成7年に掛合町農耕文化事業として80年ぶりに復活し、次世代に保存・伝承するため、今日までその時々の若者が中心となり事業が継続されています。

しかし、近年この事業を担ってきた方々の高齢化や受け継ぐ若者の減少が進み、担い手の確保と育成が課題となっています。

事業の目的

入間地区計画（R5年度～R9年度）に掲げた「活気と魅力ある地域づくり」を推進し「いるま花田植え」を次世代に継承していくため、継続的な若者参加を進める。

実 施 内 容

◇実施状況

花田植えに参加する小中学生への指導や保護者との相談を実施した。

また、今年度は高校の地域学習と連携し花田植えに参加していただいた。

いるま花田植えを担っている若者の多くは地域内の若者グループ「どんがめクラブ」に加入していることから、機会があるごとに話し合いや練習を行った。

今後の参加者の増加を見込み衣装の購入や放送機器を購入した。



◇成果と課題

衣装等を身に着け練習ができることで、子ども達の興味・関心が高まった。また、高校との連携・関わりを継続することで、卒業したあともこの地域に愛着を持ち関わってくれるような取り組みを検討し将来の担い手として関わってもらえることを期待している。

高校生に指導する機会が増えたことで地区内の若い世代も花田植えの魅力を確認し、この事業を継承していくという機運が高まっている。

高校生の参加だけでなく、1泊2日の交流事業などの企画も検討し関係人口の拡大を図っていきたい。

